

IIXIL ライス門扉

取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。
- 製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



警告

- 門扉は人や車の出入りする場所に設置するものです。使用用途・目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。
特に開閉時の扉が公道(道路面)に飛び出さないようにしてください。重大な事故につながる恐れがあります。



注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。専門の工事業者による施工が行わない場合、製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されます。

<施工上のご注意>



注意

- ※施工にあたり、下記事項をお守り下さい。守られない場合、人や物への危害・物的損害が想定されます。
- 外開きタイプでは開閉時に扉が公道(道路面)等へ飛び出さない位置に設置してください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。



ポイント

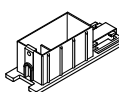
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具(保護帽、安全带、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。

■梱包明細表

【1】扉本体

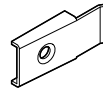
名 称	略 図	員 数		
		扉本体/ エントリー システム用 受扉本体	エントリー システム用 掛扉本体	
扉本体		1	1	
落し棒受		2	—	
門 扉 用 部 品 セ ツ ト	ヒンジ(上)		1	1
門 扉 用 部 品 セ ツ ト	ヒンジ(下)		1	1
門 扉 用 部 品 セ ツ ト	ヒンジ裏板		2	2
門 扉 用 部 品 セ ツ ト	ヒンジカバー		2	2
門 扉 用 部 品 セ ツ ト	ヒンジキャップ		2	2
門 扉 用 部 品 セ ツ ト	【1-1】M4×10 トラスネジ		8	8

【1】扉本体(つづき)

名 称	略 図	員 数	
		扉本体/ エントリー システム用 受扉本体	エントリー システム用 掛扉本体
吊元框下キャップ ※1		1	1
【1-2】φ4×10 サラタツピンネジ 1種(D=6)		1	1
取付説明書<A588>	—	1	1

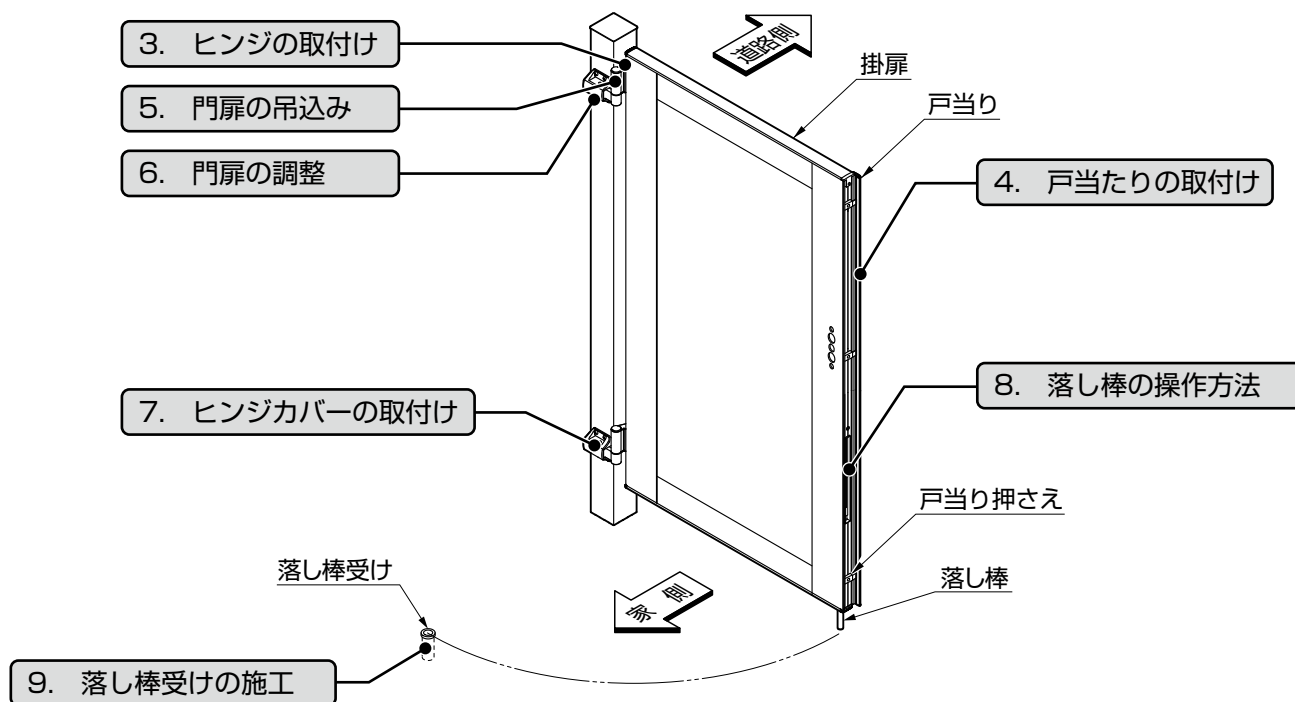
※1 扉本体に仮止めしてあります。

【2】戸当り

名 称	略 図	員 数	
		H10 H12 H14	H16
戸当り		1	1
戸当り押さえ		3	4
【2-1】φ4×12 サラタツピンネジ3種		3	4

1. 取付けの流れ

●下記、3. ～9.の順に取付けてください。



2. 基本寸法図と各部名称

※図は、H12内開き仕様を示します。

()内寸法はH10、< >内寸法はH14、[]内寸法はH16の場合を示します。

2-1 基本寸法

(1) 片開き

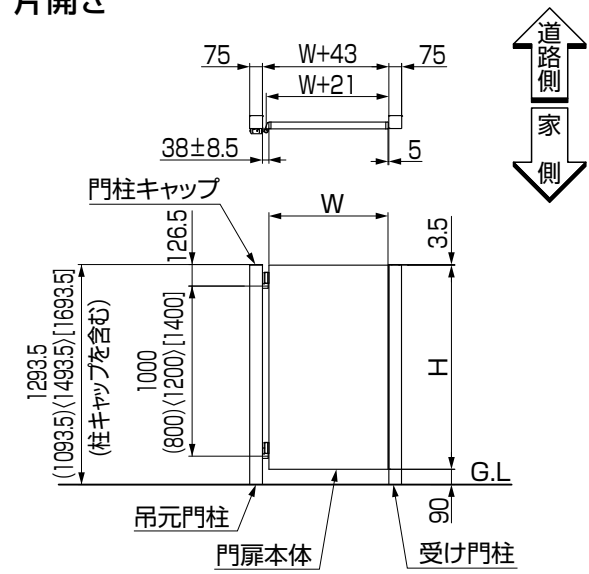


表2-1

呼 称	W	H
04-10	400	1000
06-10	600	1000
07-10	700	1000
08-10	800	1000
09-10	900	1000
04-12	400	1200
06-12	600	1200
07-12	700	1200
08-12	800	1200
09-12	900	1200
07-14	700	1400
08-14	800	1400
09-14	900	1400
10-14	1000	1400
08-16	800	1600
09-16	900	1600
10-16	1000	1600

(2) 片開き ※エントリーシステムの場合

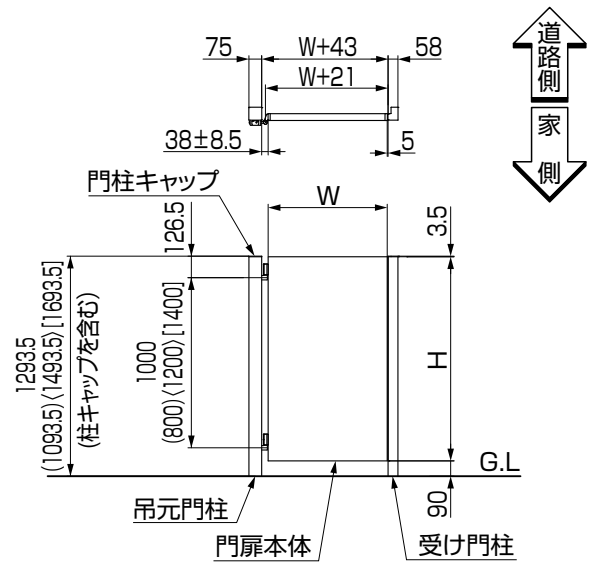


表2-2

呼 称	W	H
07-12	700	1200
08-12	800	1200
09-12	900	1200
07-14	700	1400
08-14	800	1400
09-14	900	1400
08-16	800	1600
09-16	900	1600

(3) 両開き

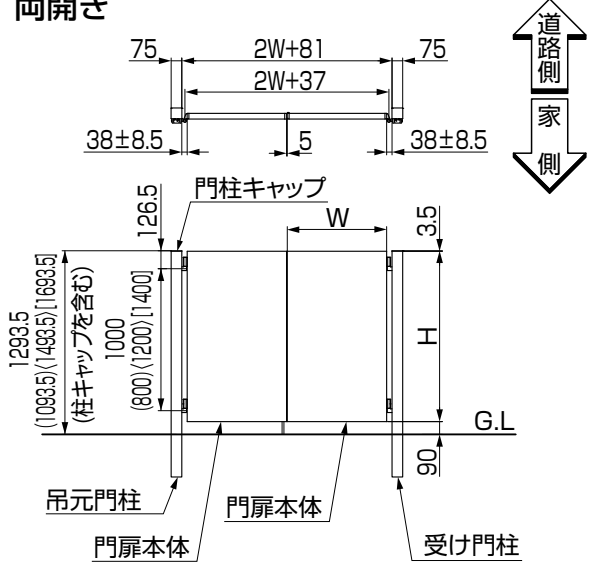


表2-3

呼 称	W	H
04-10	400	1000
06-10	600	1000
07-10	700	1000
08-10	800	1000
09-10	900	1000
04-12	400	1200
06-12	600	1200
07-12 ※	700	1200
08-12 ※	800	1200
09-12 ※	900	1200
07-14 ※	700	1400
08-14 ※	800	1400
09-14 ※	900	1400
10-14	1000	1400
08-16 ※	800	1600
09-16 ※	900	1600
10-16	1000	1600

2. 基本寸法図と各部名称 つづき

(1) 片開き

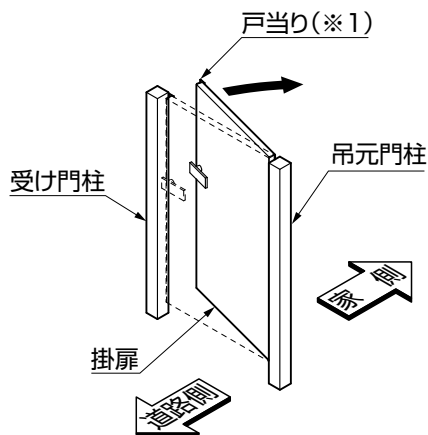


図2-1 右勝手・内開き

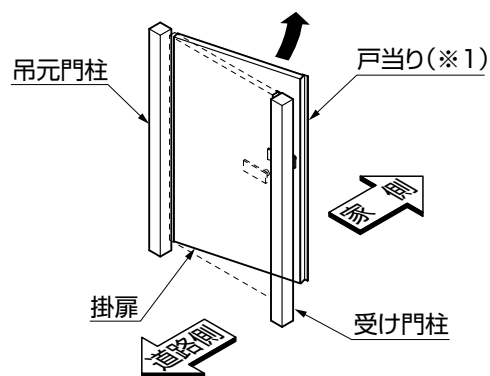


図2-2 左勝手・内開き

ポイント

- 本図戸当りは、アーム式シリンダー錠のときのみ使用してください。(※1)
- ラッチ式シリンダー錠を使用する場合は、各錠セットに同梱包の戸当り部品を使用してください。

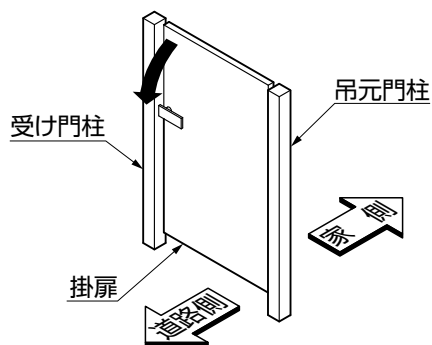


図2-3 右勝手・外開き

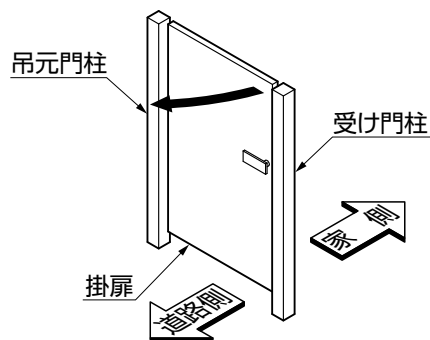


図2-4 左勝手・外開き

ポイント

- 別売りの外開き用持ち送りを使用してください。
- アーム式シリンダー錠使用時の戸当りは、アーム錠用片外開き戸当りAセットを使用してください。
- ラッチ式シリンダー錠を使用する場合は、ラッチ錠用片外開き部品Aセットに同梱の戸当り部品を使用してください。

(2) 片開き ※エントリーシステムの場合

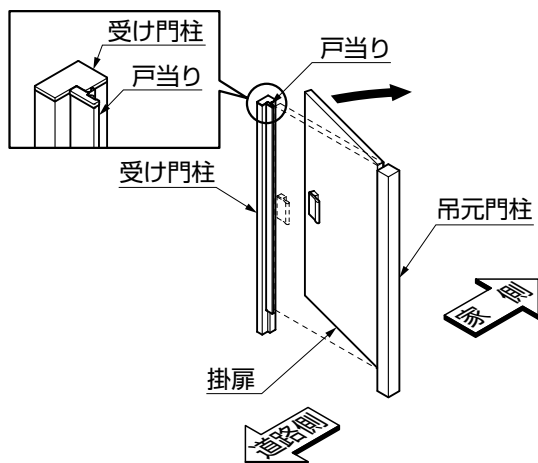


図2-5 右勝手・内開き

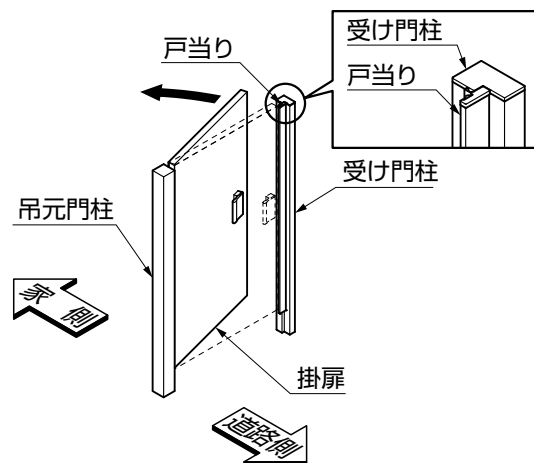


図2-6 左勝手・内開き

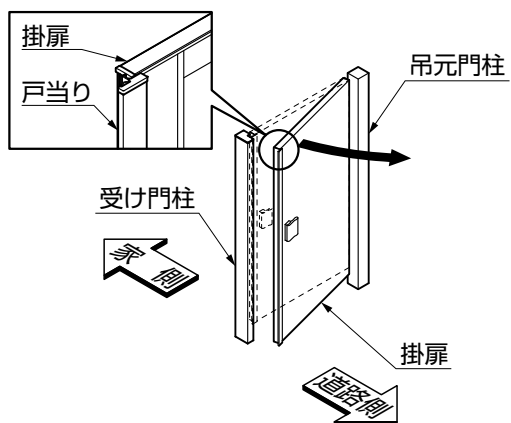


図2-7 右勝手・外開き

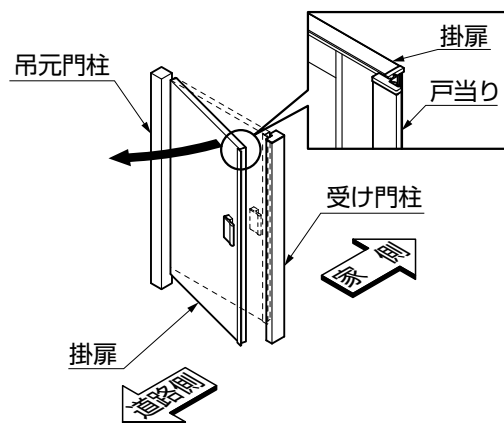


図2-8 左勝手・外開き

(2) 両開き

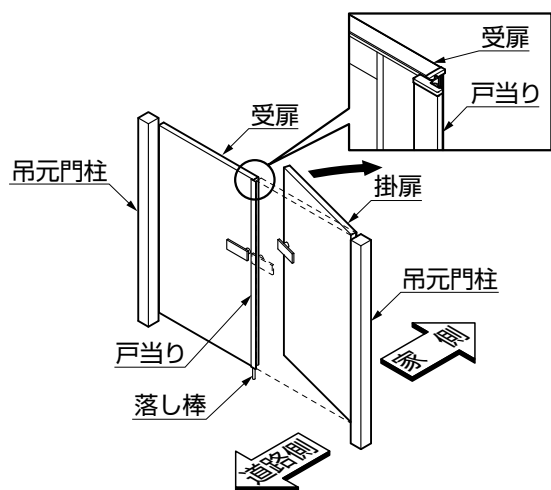


図2-9 右勝手・内開き

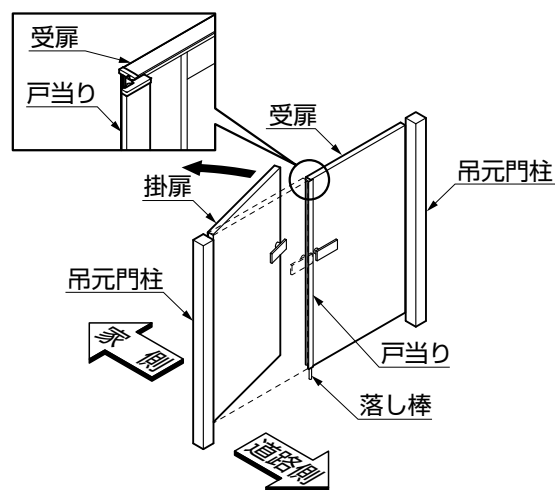


図2-10 左勝手・内開き

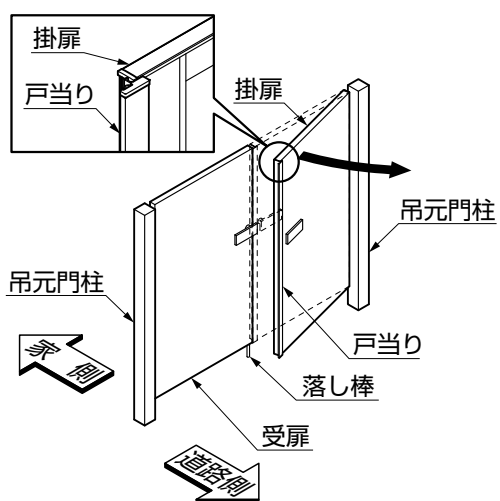


図2-11 右勝手・外開き

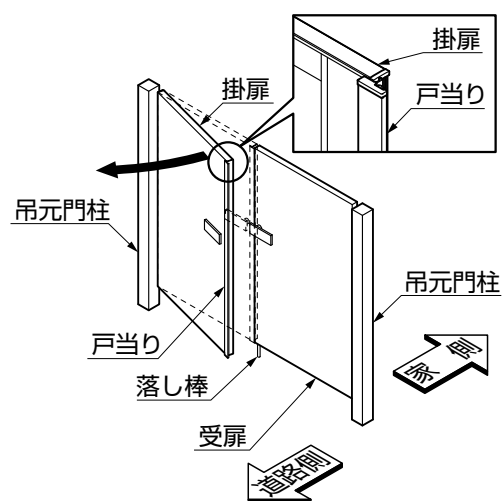


図2-12 左勝手・外開き

3. ヒンジの取付け

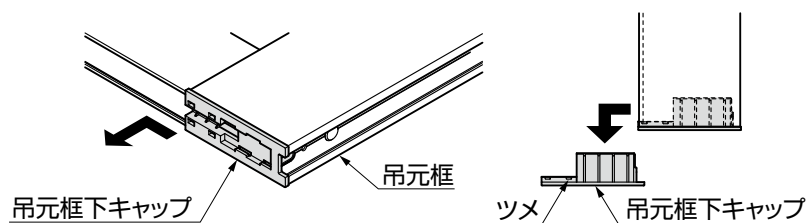


表3-1 ヒンジ取付寸法

呼 称	H
H10	800
H12	1000
H14	1200
H16	1400

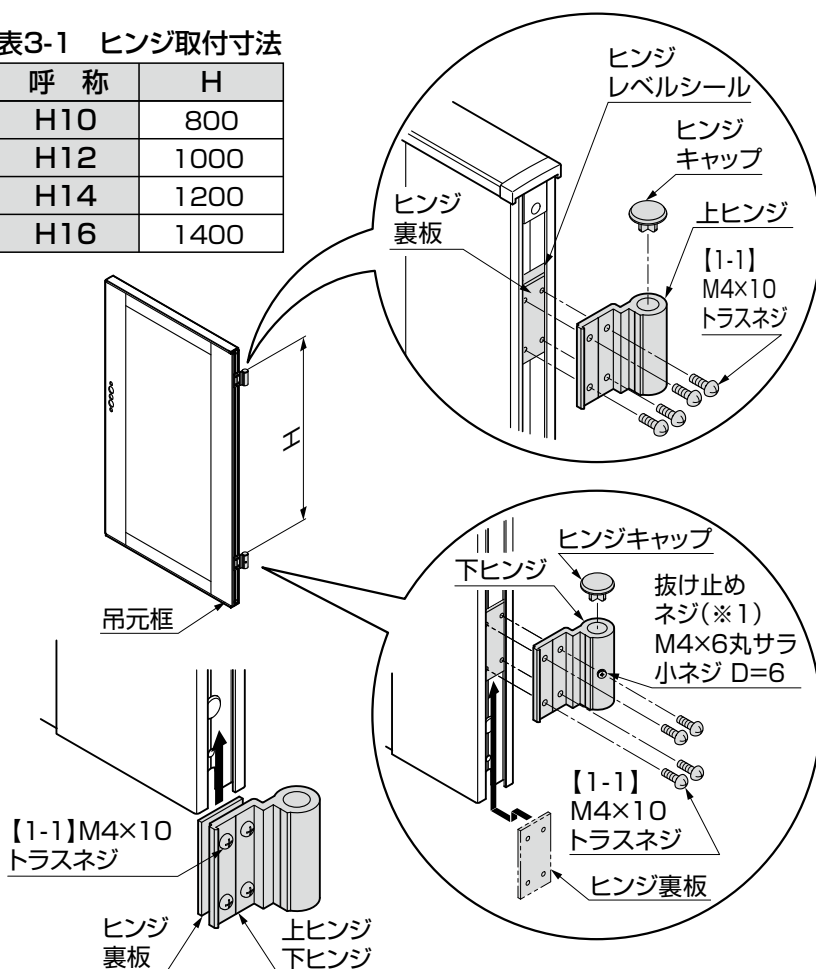
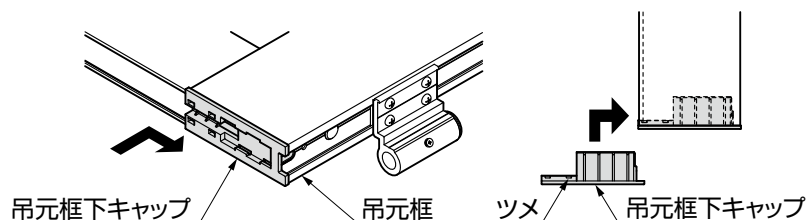
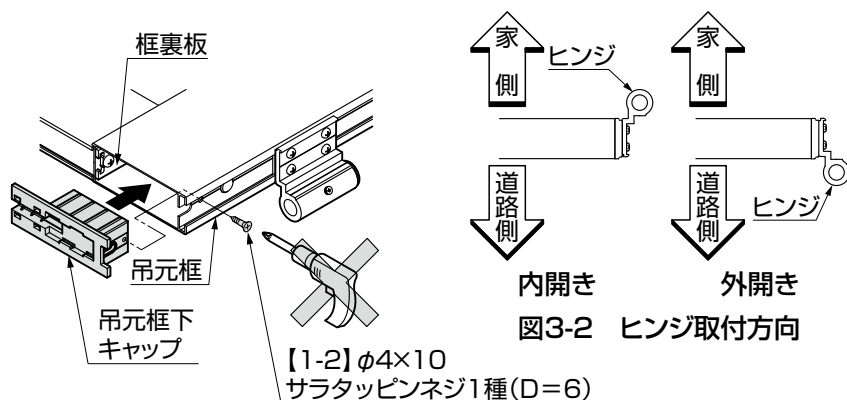


图3-1



- ①吊元枠下キャップをスライドさせて取外してください。

 補足

- 吊元框下キャップのツメが框裏板に引っかかっていますので、スライドさせて取外してください。
- 吊元框下キャップは仮固定状態で梱包しています。

- ②ヒンジ裏板を吊元框下端からスライドして、各ヒンジを図に示す位置に【1-1】で固定してください。(表3-1参照)
- ③ヒンジキャップを取付けてください。

ポイント

- ヒンジには上ヒンジと下ヒンジの区別があります。
- 抜け止めネジ(※1)がついているヒンジが下ヒンジです。
- ネジの締め付けトルクは、 $2.5\text{N}\cdot\text{m}\pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($25\pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$)をお守りください。

 補足

- あらかじめヒンジに、ヒンジ裏板を仮組みした状態で吊元框にスライドさせ、取付けると簡単です。(図3-1 参照)
- ヒンジの向きは内開きと外開きで異なります。(図3-2 参照)

- ④吊元枠下キャップを吊元枠にスライドさせて取付け、【1-2】で固定してください。

ポイント

- 框裏板にキャップのツメを引っ掛けるようにスライドさせて取付けてください。
- 吊元框下キャップの取付けには、電動ドライバーを使用しないでください。
- ネジの締め付けトルクは、 $1.0\text{N}\cdot\text{m} \pm 0.3\text{N}\cdot\text{m}$ ($10 \pm 3\text{kgf}\cdot\text{cm}$)をお守りください。

4. 戸当りの取付け

ポイント

- 戸当りを取付ける扉および柱は、「2.基本寸法図と各部名称」を参照してください。
- 片開き・内開き仕様でアーム式シリンダー錠使用の時は、戸当りを合掌框の家側に取付けてください。
- エントリースシステムの片開き・内開き仕様は、受け門柱に戸当りを取付けてください。

4-1 戸当り挿入

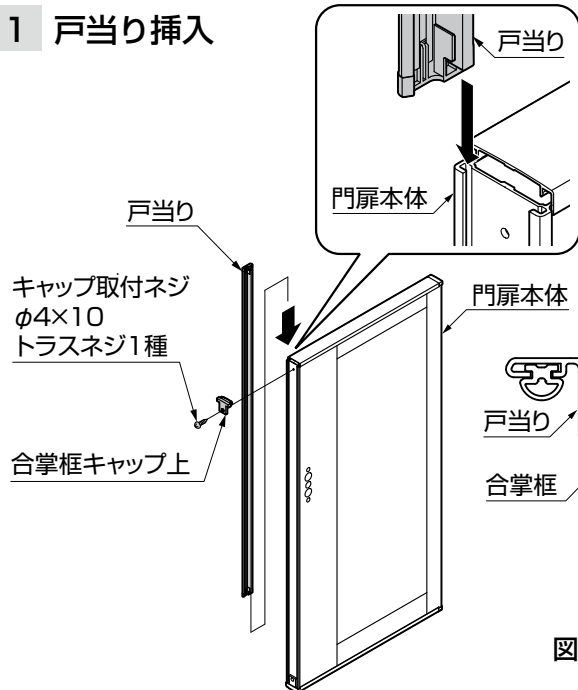


図4-1 合掌框につける場合

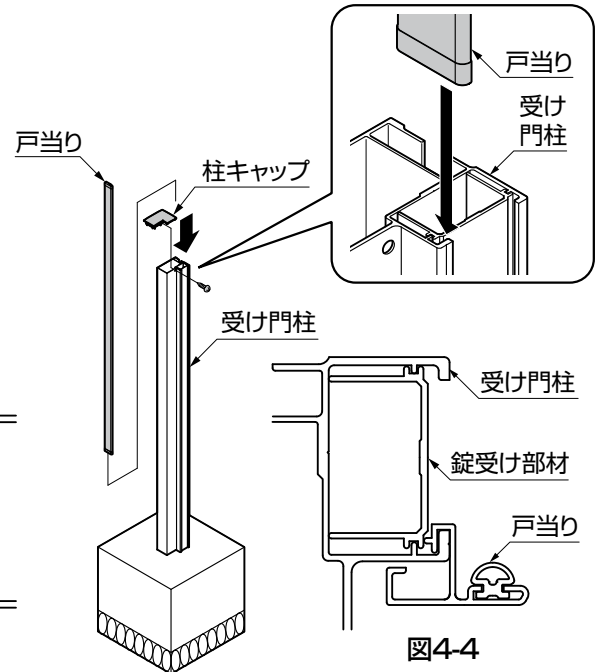


図4-2 受け門柱につける場合

- ①合掌框キャップ上または、柱キャップを取外してください。(図4-1、図4-2参照)
- ②合掌框または、受け門柱に戸当りを上から差し込んでください。(図4-3、図4-4参照)
- ③合掌框キャップ上または、柱キャップを取付けてください。(図4-1、図4-2参照)

4-2 下穴加工

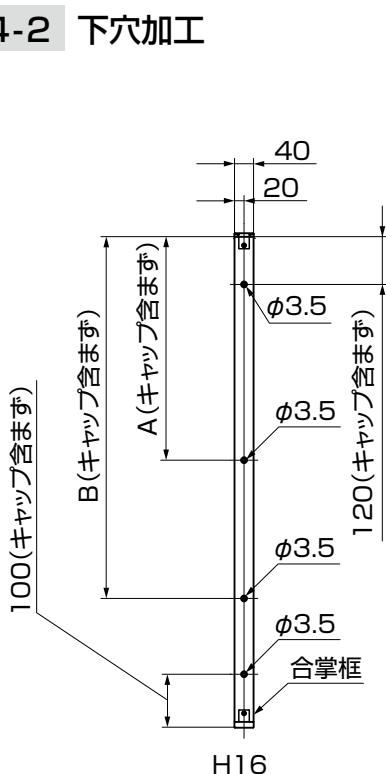


図4-5 合掌框に取付ける場合

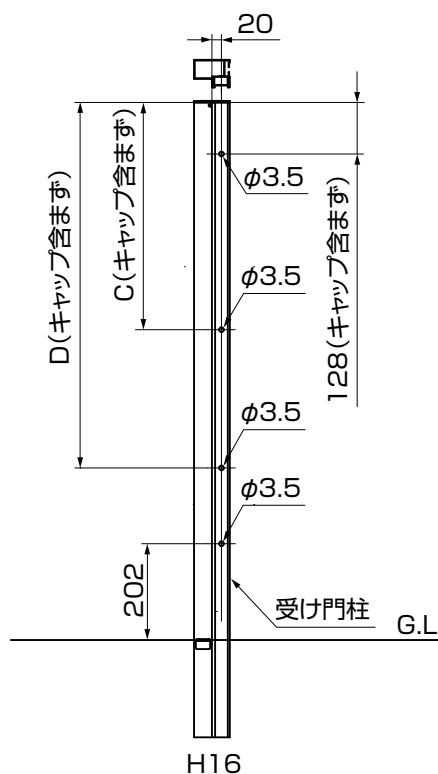


図4-6 受け門柱に取付ける場合

表4-1

H	A	B	C	D
1000	410	—	418	—
1200	513	—	521	—
1400	630	—	638	—
1600	780	1000	788	1008

- ①合掌框または受け門柱の錠受け部材にφ3.5の穴を表4-1の位置にあけてください。

4. 戸当りの取付け つづき

4-3 戸当りの固定

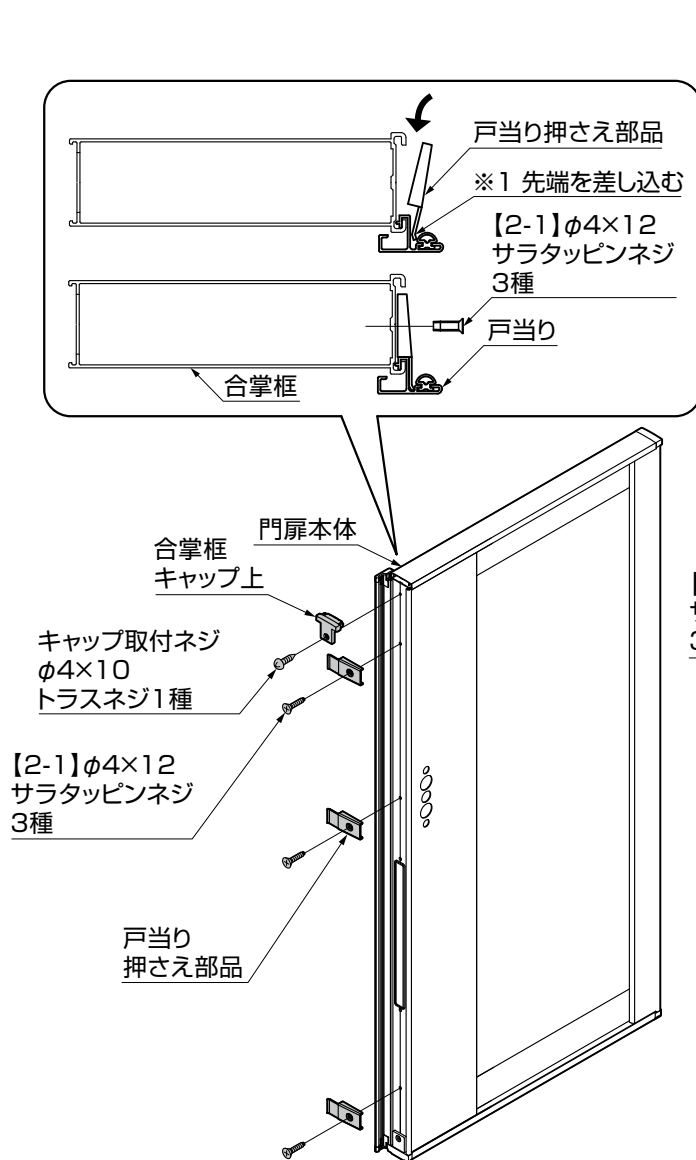


図4-7 合掌框につける場合

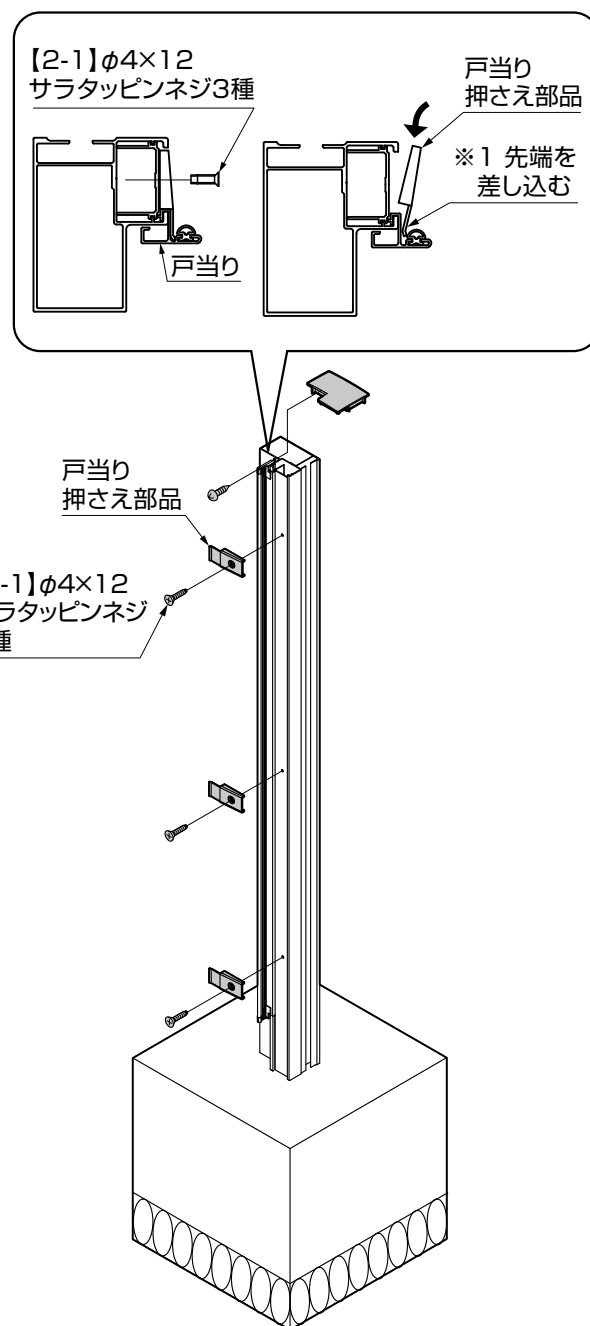


図4-8 受け門柱につける場合

①戸当り押さえを戸当りの溝に差込み(※1)ながら挿入して、ネジで取付けしてください。(図4-7、4-8参照)

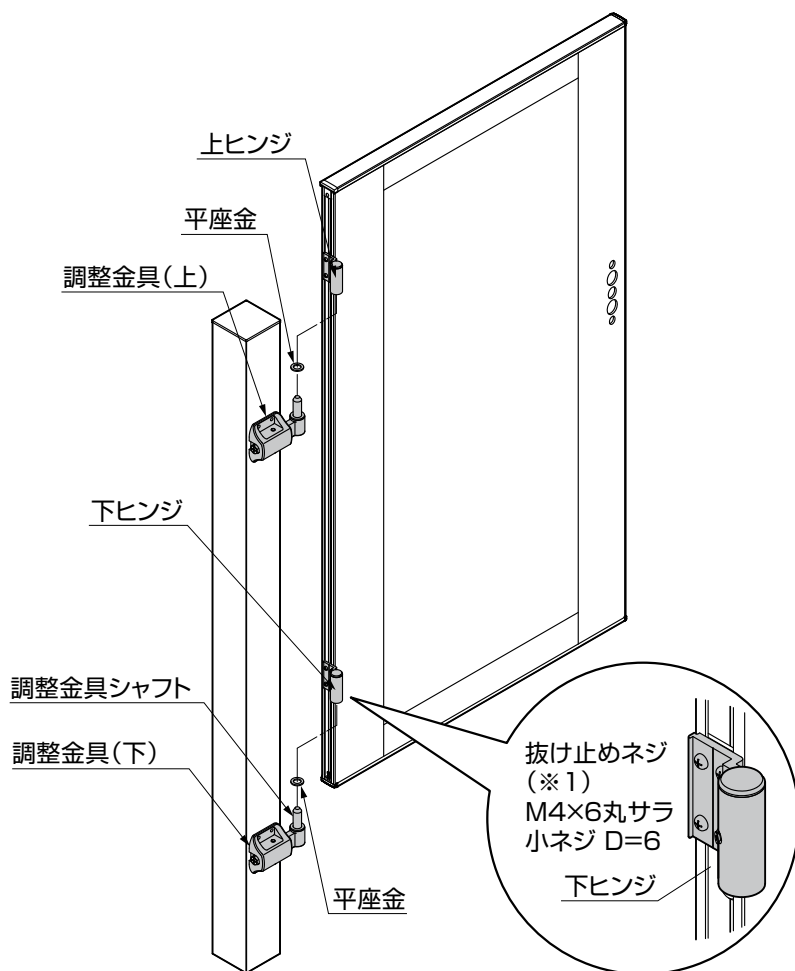
ポイント

- 戸当りは道路側に取付けてください。
- 合掌框または受け門柱へは、下穴φ3.5を開けてから取付けてください。
- 戸当りの上側と門扉又は受け門柱の上側を合わせて取付けてください。
- ネジの締め付けトルクは、 $1.5\text{N}\cdot\text{m} \pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($15 \pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$)をお守りください。

補足

- 合掌框および受け門柱には戸当り取付け用の穴加工はありません。
- 戸当りの取付位置は、「2.基本寸法図と各部名称」を参照してください。

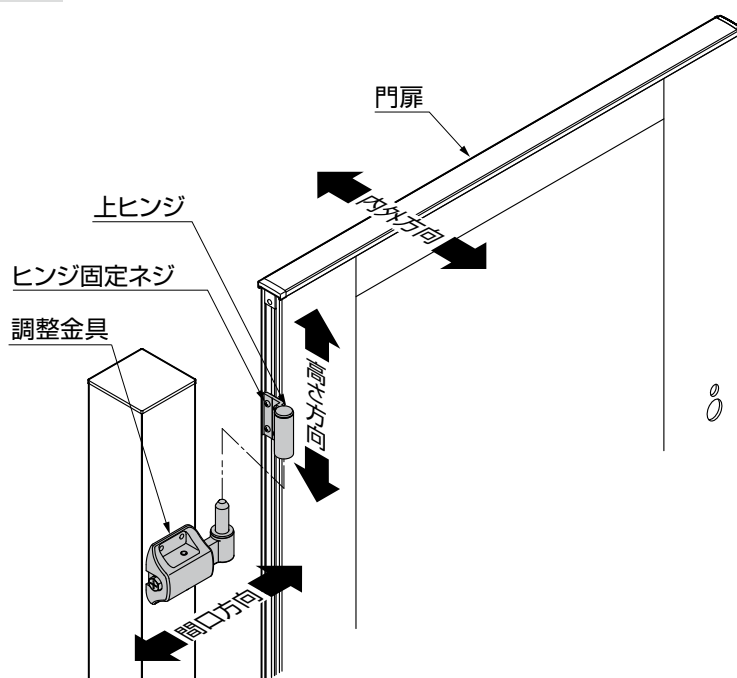
5. 門扉の吊込み



- ①下ヒンジの「抜け止めネジ(※1)」をゆるめてください。
- ②門柱に同梱の平座金を、調整金具シャフトに取付けてください。
- ③調整金具シャフトに上ヒンジ、下ヒンジを差込んで、門扉を吊込んでください。
- ④下ヒンジの「抜け止めネジ(※1)」を締めてください。

6. 門扉の調整

6-1 門扉の調整方法



- ①高さ方向の調整方法は、ヒンジ固定ネジをゆるめ、ヒンジをスライドさせて調整してください。

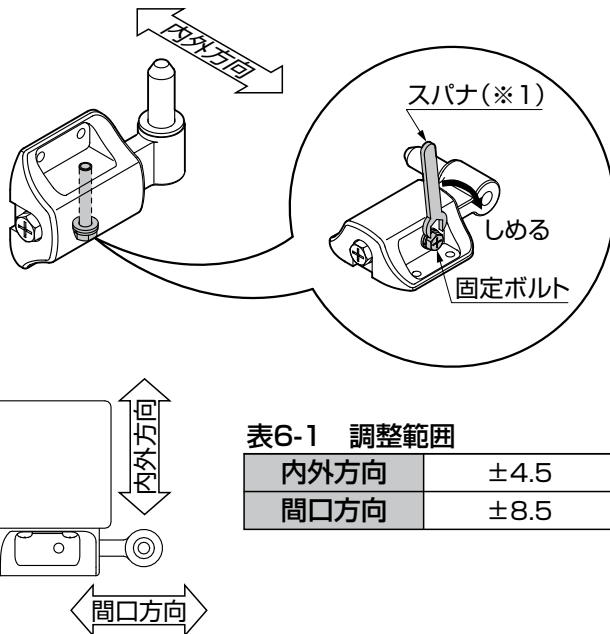
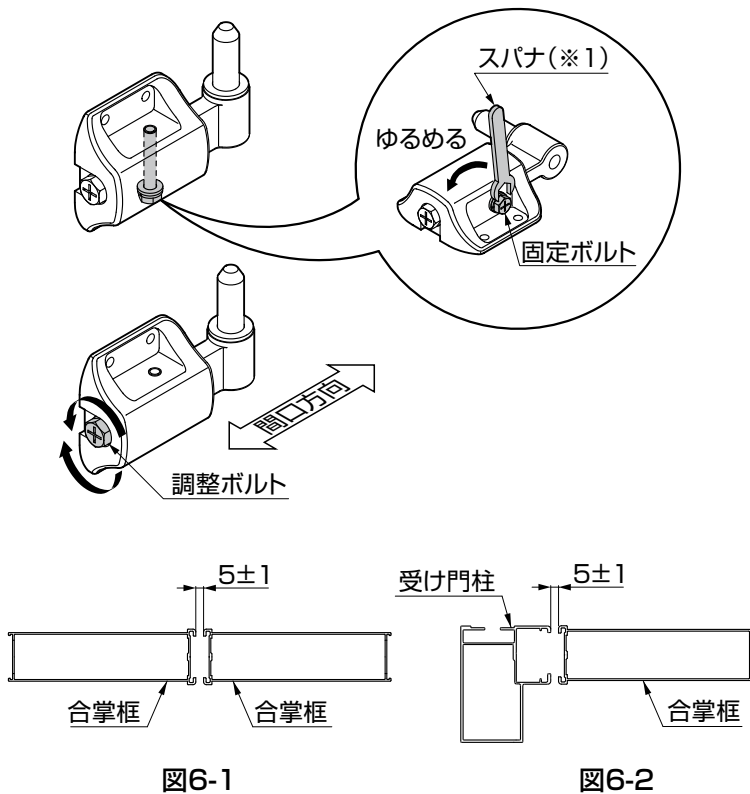
ポイント

- 門扉とG.L.のすきまは90mmが標準です。

- ②間口方向および内外方向の調整方法は、「**6-2** 調整金具の調整方法」により調整金具で調整してください。

6. 門扉の調整 つづき

6-2 調整金具の調整方法 ※固定ボルトは必ず呼び10のスパナを使用してください。(※1)



①「固定ボルト」を呼び10のスパナでゆるめてください。

ポイント

- 「固定ボルト」を締めたまま間口寸法を調整すると「固定ボルト」が破損します。

②「調整ボルト」をまわして、図6-1、図6-2のようにチリ寸法を5±1mmに調整してください。

ポイント

- 上下のチリ寸法およびねじれがないように調整してください。

③内外寸法を決めたあと、「固定ボルト」の固定は呼び10のスパナで締め付けてください。

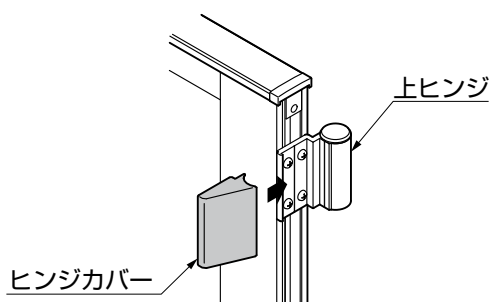
ポイント

- ネジの締め付けトルクは、5.2N・m±0.5N・m (52±5kgf・cm)をお守りください。

補足

- 調整範囲は表6-1を参照してください。

7. ヒンジカバーの取付け

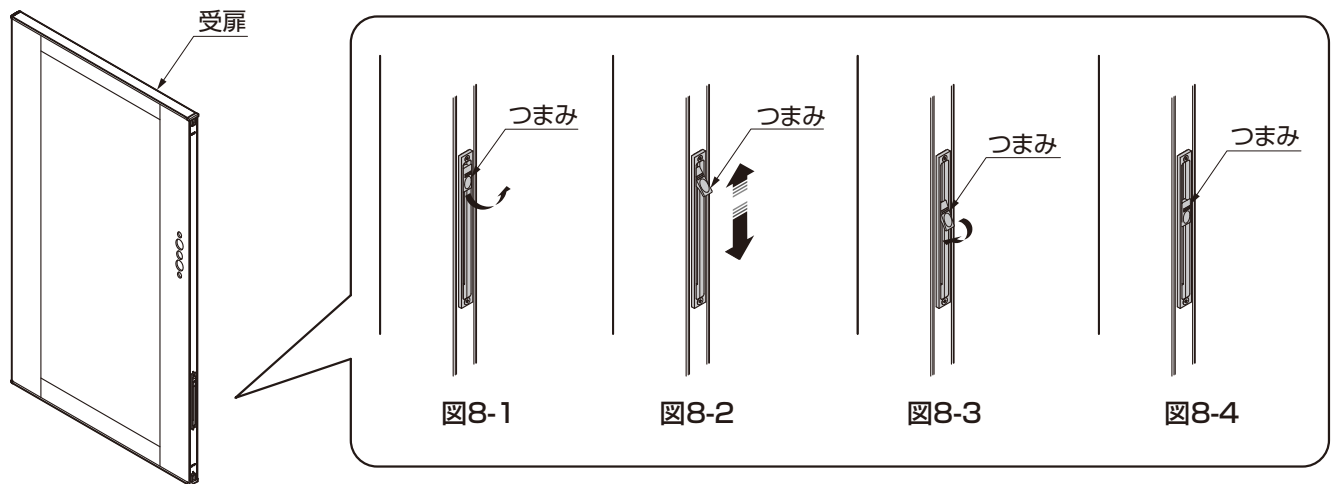


①上ヒンジと下ヒンジに、ヒンジカバーをはめ込んでください。

ポイント

- ヒンジカバーを挿入するときに「パチン」と音がすることを確認してください。

8. 落し棒の操作方法 ※CAZAS⁺／タッチキー／システムキー 門扉の掛扉には落し棒はありません。



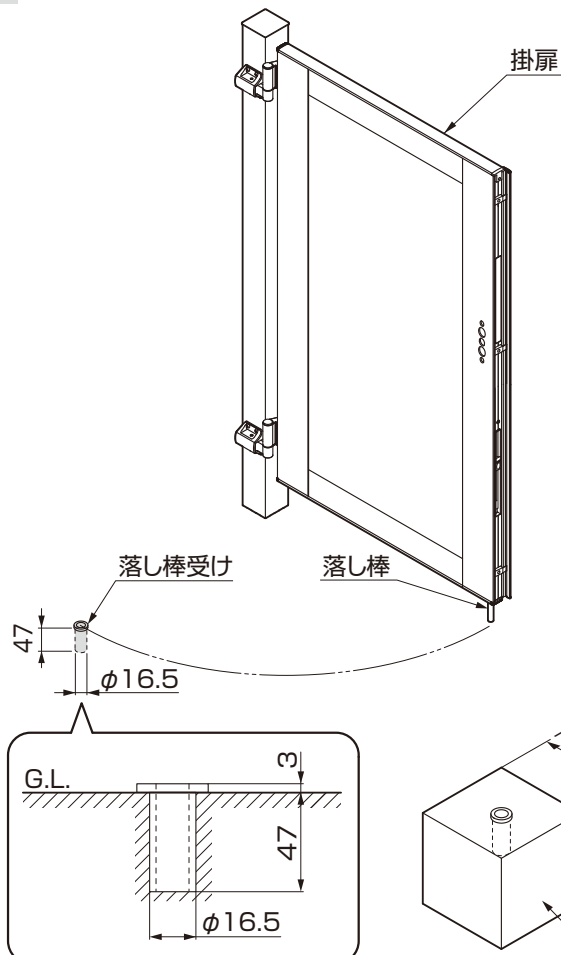
- ①つまみを引き上げ、ロックを解除してください。(図8-1参照)
- ②①で起こしたつまみをそのまま上下させて落し棒を操作します。(図8-2参照)
- ③落し棒の位置が決定したら、つまみを元にもどしてロックしてください。(図8-3参照)

ポイント

- 落し棒操作時以外は、ロック状態にしてください。(図8-4参照)

9. 落し棒受けの施工

9-1 片開き



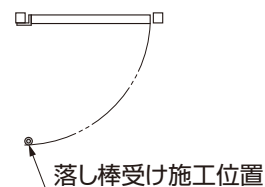
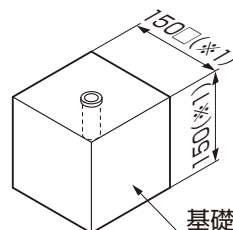
- ①掛扉を開いた状態で落し棒を収める位置に、落し棒受けを施工してください。

ポイント

- 落し棒受けの埋込位置は、現場合わせて施工してください。
- 基礎寸法は指定寸法以上にしてください。(※1)

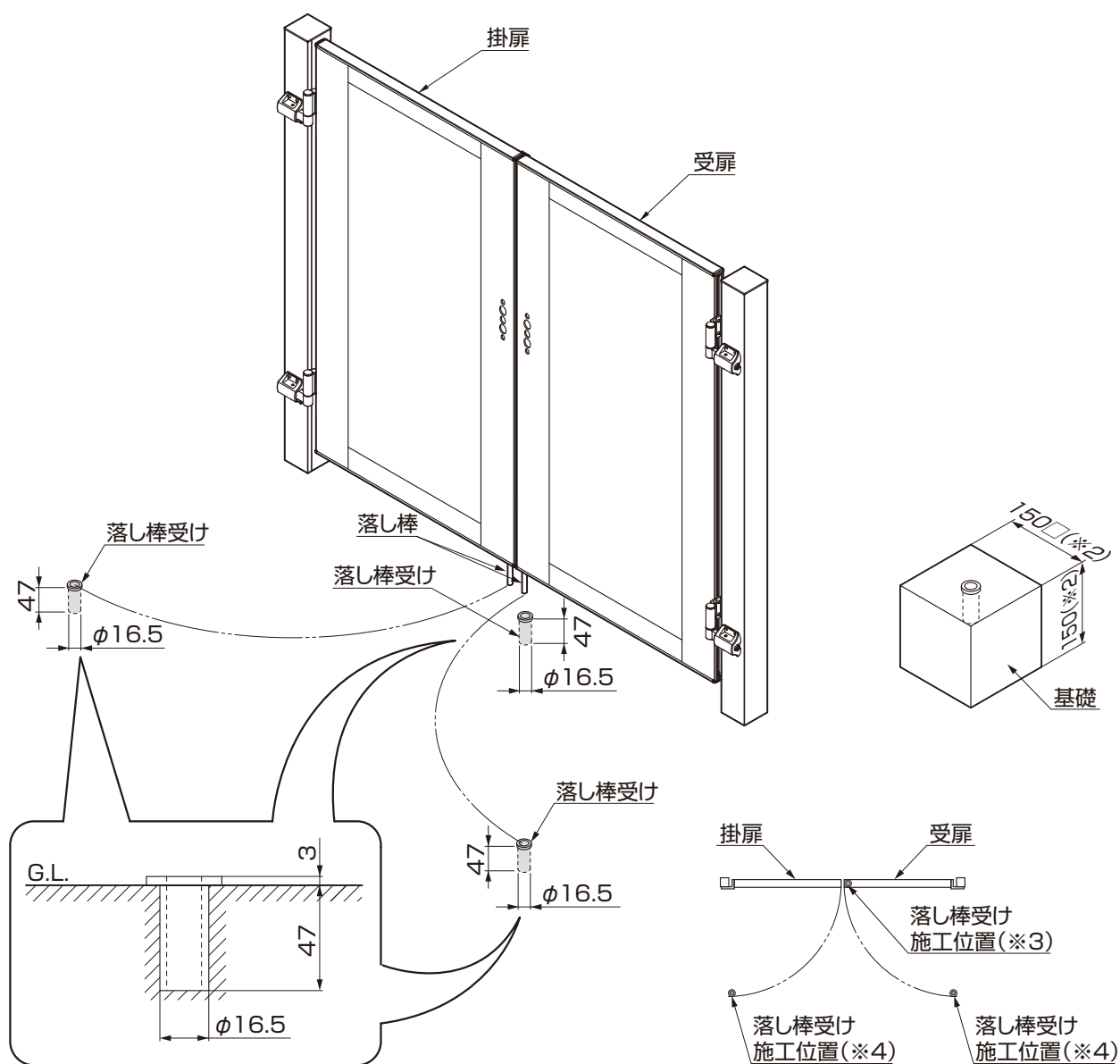
補足

- 錠の取付説明書を参考に、錠を取付けてください。



9. 落し棒受けの施工 つづき

9-2 両開き



- ①受扉を閉めた状態で落し棒を収める位置に、落し棒受けを施工してください。(※3)
- ②掛扉および受扉を開いた状態で落し棒を収める位置に、落し棒受けを施工してください。(※4)

ポイント

- 落し棒受けの埋込位置は、現場合わせで施工してください。
- 基礎寸法は指定寸法以上にしてください。(※2)

補足

- 錠の取付説明書を参考に、錠を取付けてください。

取説コード

A588

JZZ626318B
201403A_1047
201510C_1049